

奈良市障害者活躍推進計画に基づく取組の実施状況

1. 計画作成機関（任命権者）

奈良市長、奈良市議会議長、奈良市選挙管理委員会、奈良市公平委員会、奈良市代表
監査委員、奈良市農業委員会

2. 評価年度

令和5年度

3. 目標に対する達成度

(1) 採用に関する目標

目標	実績
法定雇用率の達成 (各年度6月1日時点)	実雇用率 2.85% (令和5年6月1日時点)

※法定雇用率 2.6% (令和5年6月1日時点)

(2) 定着に関する目標

目標	実績
1年間の離職率 5%未満 (各年度6月1日時点)	1年間の離職率 0% (令和5年6月1日時点)

※対象者…前年度の任免状況通報において対象となった障害者

※離職事由…障害者である職員の活躍の場の提供が不十分であることを起因とした離職（定年、任期満了等による退職者を除く）

4. 取組内容の実施状況

(1) 障害者の活躍を推進するための体制整備

計画における取組項目	取組の実施状況（令和5年度）
<組織面> ○ 障害者雇用推進者の選任 ○ 障害者の活躍推進に関する庁内検討会議の設置 ○ 職員及び有識者等への意見聴取の実施 ○ 障害者職業生活相談員の選任 ○ 人的サポート体制の整備	<組織面> ○ 人事課長を障害者雇用推進者に選任しました。 ○ 令和2年度より障害者の活躍推進に関する庁内検討会議を設置しました。 ○ 職員の中から障害者職業生活相談員を選任しました。 ○ 障害者である職員や障害者と共に働く職員への支援を行うための相談窓口を設置し、随時の相談や面談を通して職員や職場のサポートを行いました。

	○ 必要に応じて外部の専門家や支援機関等による就労支援を実施しました。
<人材面> ○ 障害者職業生活相談員の育成 ○ 職員向け研修及び啓発等の実施	<人材面> ○ 障害者職業生活相談員育成のため、職員に奈良労働局開催の障害者職業生活相談員資格認定講習を受講させました。 ○ 新規採用職員研修において、障害者基本法及び障害者差別解消法等について学ぶ講義を実施しました。また、障害者への理解深化と職域開発のために、職場体験実習を実施しました。

(2) 障害者の活躍の基本となる職務の選定・創出

計画における取組項目	取組の実施状況（令和5年度）
○ 職務選定及び創出の検討 ○ 障害者と業務の適切なマッチングの実施	○ 令和2年度に庁内への照会にて各部署の業務状況の把握を行い、障害者である職員が実施可能な業務の選定を行いました。その内容をもとに、令和5年度においても、障害者である職員の能力や希望、障害特性等に応じて、正規職員に加え、多様な勤務が可能な会計年度任用職員を採用し職場配置を行いました。

(3) 障害者の活躍を推進するための環境・人事管理

計画における取組項目	取組の実施状況（令和5年度）
<職務環境> ○ 合理的配慮の提供	<職務環境> ○ 職員本人からの要望を踏まえ、過重な負担にならない範囲で合理的配慮の提供を行いました。
<募集・採用> ○ インターンシップ及び職場実習の受け入れ ○ 採用選考時の配慮 ○ 募集・採用における取扱い	<募集・採用> ○ 特別支援学校の生徒や就労支援施設等の利用者を対象とした職場体験実習を行いました。 ○ 採用選考に当たって必要な配慮事項について、あらかじめ確認したうえで選考を実施しました。また、内定者については、慣らし勤務としてプレ雇用を実施しました。

	○ 特定の障害や不公平な条件等を伴う取扱いを行わないように努めました。
<働き方> ○ 柔軟な時間管理制度の整備の検討	<働き方> ○ 柔軟な時間管理制度の整備について、職員本人より要望があった場合は検討することとしています。
<キャリア形成> ○ 各種研修の実施	<キャリア形成> ○ 各種研修を円滑に受講することができるよう、職員本人の要望を踏まえながら、障害特性に応じた合理的配慮を行いました。
<その他の人事管理> ○ 中途障害者への支援	<その他の人事管理> ○ 中途障害者への支援について、必要に応じて実施することとしています。

(4) その他

計画における取組項目	取組の実施状況（令和5年度）
○ 障害者就労施設等からの調達推進	○ 国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律に基づく障害者就労施設等への発注等を通じて、障害者の活躍の場の拡大を推進しました。